

令和7年度第5回霞ヶ浦自然観察会実施結果

日 時：令和7年9月20日（土） 9時30分～12時

場 所：霞ヶ浦環境科学センターに近い霞ヶ浦湖岸および堤脚水路

講 師：中村 誠先生（元茨城県内水面水産試験場職員、当センターパートナー）

目 的：

霞ヶ浦には約50種の魚が生息していると考えられ、多くは湖岸でも捕って観察することができる。たも網や投網などで実際に霞ヶ浦の魚を捕らえる体験をすることで、霞ヶ浦の生物多様性の豊かさを体感する。さらに、霞ヶ浦が水産資源の場として重要な湖であることを認識し、その環境を守ることの大切さを学ぶ機会とする。

参加者：40名（子ども21名、保護者19名、13グループ）

担当職員：5名

パートナー：5名

結 果：

霞ヶ浦環境科学センターに近い霞ヶ浦湖岸と付近の水路で魚類の観察会を行いました。まず、たも網を使って、水路で魚を捕りました。水路に魚がいるかどうか心配しましたが、予想に反して多くの種類の魚がたくさん捕れました。続いて、霞ヶ浦の湖岸の方で、投網による魚の採集を見学しました。

たも網で採集した魚と投網で採集した魚を合わせて、講師の中村先生から、捕れた魚の詳しい解説を聞きました。先生からは、今日はたくさんの魚が捕れて、全部解説するには時間が足りないので、主な種類を解説しますとのことでした。魚は、ミルソーという容器に入れて、大変見やすい状態で観察できました。

今回は、天気にも恵まれて、気持ちい風が吹いて絶好の観察会日和になりました。いろいろ教えてくださった中村先生はじめ、親切に対応してくださったパートナーの皆さん大変ありがとうございました。

下に、中村先生に解説していただいた主な魚類について掲載します。

霞ヶ浦の魚類

これまでに霞ヶ浦では約１２０種の魚類が確認されているが、現在生息している種類は、５０種に満たない数と考えられる。また、外来種などこれまで確認されていなかった魚が捕獲されることもしばしばある。

タイリクバラタナゴ

アジア大陸東部原産の外来種。タナゴの仲間は霞ヶ浦では、在来のアカヒレタビラなども見られるが、ほとんど見られるのはこの種で、オオタナゴ（特定外来生物）も生息する。

背びれが黒い個体は子どもか雌、オスの成体ではこの色は消える。

タナゴ類は二枚貝に卵を産んで増えるが、霞ヶ浦には、これだけいるタイリクバラタナゴを養うだけの二枚貝はいない。どうやって増えているのか、子どもたちの中から魚の研究者が育って解明してほしい。

モツゴ

クチボソともいう。小さい体に黒い縦線が入っているのが特徴。繁殖期にはなわばりをつくり、オスどうしは激しくけんかをする。動物プランクトンなどを食べている。

ツチフキ

えら蓋から土を吹くのでツチフキというが、これは卵を産む場所をつくるための行動である。霞ヶ浦では１９６０年代にはたくさん生息していたが、いったん生息数を減らし、最近また増えてきた。

フナのなかま

フナの仲間は霞ヶ浦周辺に、ギンブナのほか、キンブナ、ゲンゴウロウブナ（ヘラブナ）がいる。小さい個体だと、ギンブナとゲンゴウロウブナの見分けが難しい。

ブルーギル

アメリカ原産の外来魚（特定外来生物）。食べるとおいしい魚で、英語ではフライパンに収まるサイズなのでパンフィッシュという。ひれが硬く背びれは針のようになっているので丸ごと食べるのは食べづらいが、大きくなった個体は食べやすい。

ヌマチチブ

ハゼのなかま。今日はたくさん捕れたが、霞ヶ浦には一時期非常に多く捕れたが現在は多くない魚。繁殖期にオスはメスを呼ぶときに「グルグル」と鳴く。

ボラ

投網で比較的大きな個体が捕れた。ボラは霞ヶ浦で越冬し、1年目の春に海に戻り産卵して、稚魚はまた霞ヶ浦に戻ってくる。石についた藻（コケ）を食べている。エサのある石のところによく群れている。

ドジョウ

ドジョウはメスの方が大きくなり 20 cmくらいになる。最近カラドジョウという外来種もいる。

テナガエビ・スジエビ

霞ヶ浦周辺にすんでいるエビ類は、テナガエビとスジエビの2種類。テナガエビの手が長いのはオス。大きなエビはツノガラエビとして珍重されるが、最近の霞ヶ浦ではでは大きい個体はなかなか見られない。から揚げなど食用にする。たいへんおいしい。主に汽水域をすみかにしている。

今日はスジエビは捕れなかったが、しっぽに横縞模様が見られればスジエビ。日本で完全に淡水産（真水にすむ）のエビはこのスジエビくらいである。

令和7年度第5回霞ヶ浦自然観察会



センターから徒歩で現地に向かう



観察地で開会式、講師の説明を聞いて採集に向かう



小水路でたも網を使って魚の採集を行う



たも網にかかった魚、タイリクバラタナゴが捕れた



捕れた魚を水槽に移して観察の準備をする



投網の実演を見学する



ミルソーに種ごとに魚を入れて講師の解説を聞く



最後に捕れた魚を水路にリリースする